

有料プログラムのご案内

プログラム	関上案内ガイド	語り部講話	出張語り部	オンライン講演
内容	①案内人と合流、館内で資料映像を視聴(10分) ②ミニ語り部講話、館内のご案内(30分) ③乗り物にて、関上の街へ。案内ポイントで下車します。(約40分)	①館内で資料映像を視聴(10分) ②語り部さんの講話(約30分) ③質疑応答、館内見学	①資料映像を視聴(10分) ②語り部さんの講話 ③質疑・交流会・お時間、内容はご相談ください	インターネットを利用してウェブ上で行う講演会です。語り部講師が「関上の記憶」から発信します。質問や意見交換にも対応できます。
所要時間	90分	45分～60分	40分～、相談のうえ	40分～、相談のうえ
人数	人数制限はありませんがバス3台以上の場合は申し込み前に要相談	45人まで	制限なし	制限なし
料金 (1グループにつき)	1人～10人 5,000円 11人～30人 10,000円 31人～45人 15,000円	一律 5,000円	1講演 30,000円 同日2回目以降は+15,000円 別途交通費宿泊費など実費	15,000円～
お申込方法	下記申込書に必要事項を記入のうえ FAXかメールにて送付ください		希望日の30日前まで はじめに事務局にメールかお電話にてご相談ください	

プログラム申込書

お選びください:		関上案内ガイド	語り部講話
●希望日時	年 月 日 ()	●参加人数	名
	: ~ : ()分		
●移動手段	大型バス	台、中型・小型バス	台、乗用車等
●緊急連絡先	※当日必ず連絡がつく、代表者等の携帯電話		
●ご参加団体(個人)について教えてください Q. 以前関上へ来たことがありますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ			
団体(個人)名:		代表者名:	
団体の概要 (団体パンフレット等あれば一緒にご送付ください):			
住所: 〒			
TEL:		FAX:	
●旅行会社を通して申込の場合ご記入ください Q. 以前もご利用されたことがありますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ			
会社名:		担当者名:	
TEL:		FAX:	
●領収書宛名	<input type="checkbox"/> 団体名 <input type="checkbox"/> 旅行会社名 <input type="checkbox"/> その他 ()		
●備考欄 ※要望質問等			



津波復興祈念資料館 関上の記憶
Program Guidebook



津波復興祈念資料館 関上の記憶

住所: 宮城県名取市関上東3丁目5-1 TEL: 022-738-9221 (平日10時~15時、木曜閉館) ホームページ



関上の記憶

メモワ・ド・ユリアグ
Mémoire de Yuriage



どんなところですか？

“いのちの大切さ”を、自分の言葉で伝えます

私たちは、津波の脅威や防災の知恵を伝えるだけでなく、「あの時失って初めて気づいた大切なもの」について、当事者だからこその心と身体から出てくる言葉で伝えています。「関上の記憶」は、いつでも「あの日」を語ることができる場所として、ときに笑顔で、ときに涙を流して語り合う場を継続してきました。

「関上の記憶」には多様な語り部がいます。案内人・語り部は常時15名ほど。家族を亡くした人、津波で流されながらも助かった人、被災した地元に戻って暮らすか葛藤を抱えた人など、ほとんどが地元・関上の住民です。

何を学べますか？

「あの日」を、“今の自分”と繋がります



① 関上中学校遺族会慰霊碑



② 語り部・佐々木清和



③ 語り部・松崎江里子

「関上の記憶」では、震災を知らない若い世代が増えるなか、“今”の“自分”と繋がりを感じてもらおうことを目指しています。そのため「あの日、何があったのか？」を語ることはもちろんのこと、「震災前にあった暮らし」や「あの日を生き抜いた子どもの思い」、「町が復興するまでの歩み」など、様々なメッセージを伝えています。

【写真①】旧関上中学校に通っていた14人の名前を刻んだ慰霊碑があります。たくさんの方に名前を撫でてほしいという思いから、丸みを帯びた形にしています。

【写真②、③】語り部の経験は、道徳の教科書「ひまわり」（光村図書「中学道徳1」）の教材や、絵本「マンホールのステージ」にも取り上げられています。

どんなプログラムがありますか？

“津波のことは忘れても、津波から学んだことは忘れない”

所要時間:
90分



関上案内ガイド

料金：5,000～

映像視聴＋講話＋外案内、全てを網羅します。修学旅行や校外学習の皆さん、真剣に学びを深めたい人におすすめ。

所要時間:
40分～



語り部講話

料金：5,000円

映像視聴＋講話で構成するプログラム。生涯学習やリカレント教育に関心ある方へ。

所要時間:
40分～



出張語り部

講演料：30,000～

学校全体での講演会を開催する時や、PTA、婦人防火クラブの勉強会に。語り部が皆さんの街に伺います。講演後、交流会も可能です。

所要時間:
40分～



オンライン語り部

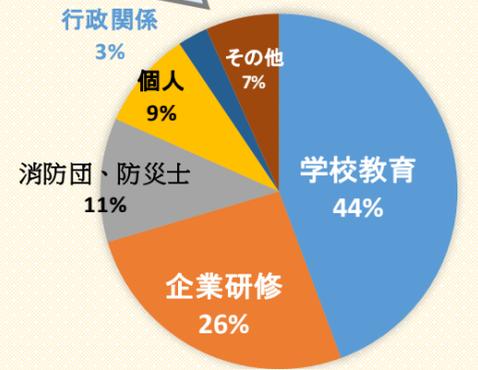
料金：15,000円

それぞれの場所でも学びを重ねられる機会を提供しています。一方的な話ではなく、質疑応答も可能です。

これまでの実績

私たちは、震災1年後の2012年4月に開所。毎年1万人を超える方に全国から訪れていただいています。修学旅行や校外学習など学校関係の方、企業の社員研修などの方も多いです。個人で何度も足を運んでくれる方もいらっしゃいます。その目的は、「震災について知りたい」「復興やコミュニティ作りについて学びたい」「心のケアや傾聴に関心がある」など様々。私たちは、そうした多様なニーズに応えていきたいと思っています。

どんな人たちが来ますか？



参加者のアンケートから



福岡県・高校生

前日に些細なことで母と喧嘩をしてしまいました。私が悪いのに変な意地を張ってしまい、謝ることができず当日を迎えました。そこで、語り部さんのお話を聞いて「明日大切な人と必ず会えるとは限らない」ということを改めて感じ、帰ったら何よりも先に母に謝ることを心に決めました。そして、帰宅すると真っ先に、今までで一番の心からの謝罪をし、仲直りすることができました。自分でも驚くほど、止めどなく涙が溢れてきました。日常の尊さを今一度しっかり考えることができました。

言葉にできない悲しみは消えないだろうに、それでも語ってくださったことに深い感謝と敬意を表します。「津波は来ない」という思い込みが被害を拡大させたというお話が印象的でした。津波に限らず思い込みによる過ちはよくあることだと思います。危機管理という意味で身が引き締まる思いです。



P T A 役員



新潟・高校生

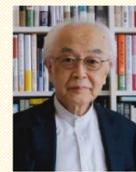
今ある日常が、必ずしも当たり前ではないということが身に沁みました。語り部さんの話を涙ながら聞かせていただきました。特別何もできるわけじゃないけど、生きるという形でもっと親孝行をしたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

私は、ガイドを聴くまでゆりあげのことを知りませんでした。しかし、今回実際に地震と津波を経験し、辛い思いをした語り部さんのお話を聴き、とても良い経験になったと思います。もっと家族を大切に、自分の身は自分で守ることを意識したいと思いました。今回のプログラムはとても有意義な時間になりました。



北海道・中学生

たくさんの方に応援をいただいています



柳田邦男さん：
ノンフィクション作家

私が初めて「関上の記憶」を訪れたのは、大地震から5年後の2016年2月でした。喪失を体験した人の心の中は5年経ってもまだまだ整理のつかない苦悩があるのだと、側々と伝わってきました。体験を語り伝えるという行為は、当事者の心の中で混沌としている悲しみ、苦しみ、葛藤を整理し、新しい気持ちで「生きなおす」ための扉を開けるきっかけとなるものです。語り部は、災害や事故の記録を書物で“読む”のとは異なる意味を持ちます。“語り”による深い影響は、聴き手の人生観や価値観を変えることさえあります。社会を変えていく「見えざる力」に繋がっていくことを期待しています。



武田真一さん：
フリーアナウンサー

人は晩年になれば、自然にどんどん大切なもの（人）をなくしていきます。一方で、歳を重ねても、必ずしも強くなるわけではありません。みんな何かをなくしていくという事では同じだと思います。お互いに寄り添い、悲しみや辛さを分かち合うことは、すべての人ができることです。被災地と未災地がつながること、「関上の記憶」に足を運び続けることは私にとって何か大きな行動をするということではなく、喜び、楽しさなどを感じることを含め、人生に必要なことだと思っています。



津波復興祈念資料館「関上の記憶」の目印は、こいのぼり。「関上はここだよ!」、空にいるみんながすぐに関上を見つけれられるよう、一年中泳いでいます。このプレハブの中で映像を見たり、講話を聴いたりします。

